

蔵王町公共施設等総合管理計画

-概要版-

公共施設等総合管理計画の策定

計画期間

平成40年度に更新時期のピークを迎えることから、平成28年度から平成42年度までの15年間とします。

対象範囲

公共施設(建築物)、インフラ施設(道路、橋梁)、公営企業施設(上・下水道、病院)

現在、高度成長期に整備されてきた公共施設等の老朽化対策が全国的な問題となっており、総務省は平成26年4月に『公共施設等の総合かつ計画的な管理の推進について』を通知し、全ての地方公共団体に対して「公共施設等総合管理計画」の策定を要請しています。

本町においても、昭和40年代後半から50年代にかけて公共施設等が集中的に整備されたため、多額の更新費用の確保が課題となっており、「公共施設マネジメント」(公共施設等を町の貴重な資源として捉え、管理及び利活用について総合かつ統括的に行う仕組み)の考え方が重要になります。

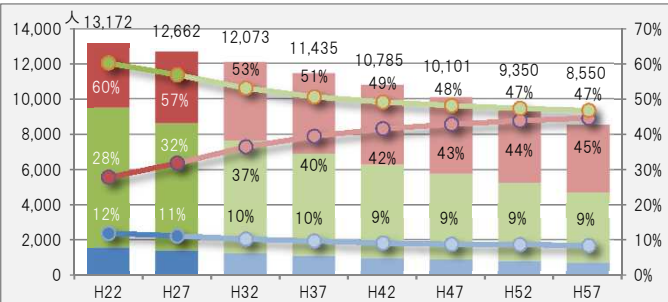
本計画は、厳しい財政状況の中にあっても将来に向けて公共サービスへの影響を最小限に抑え「安全・安心で快適な公共施設等の提供」を目指し、社会的な必要性の変化や住民の需要動向に対応した整備を行い、「次世代に負担を残さない最適な公共サービスの実現」を図っていくための基本的な考え方を示すことを目的に策定するものです。

公共施設等の現況及び将来の見通し

人口の推移

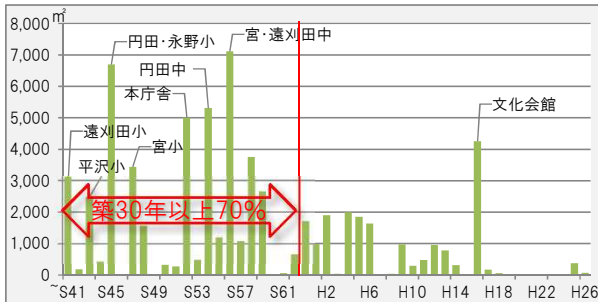
平成57年の本町の総人口は、平成27年の12,662人から1万人を割り込み、8,550人になると見込まれます。

年少人口割合及び生産人口割合は減少する一方、老年人口割合は増加を続け、平成57年には45%になると予測されます。



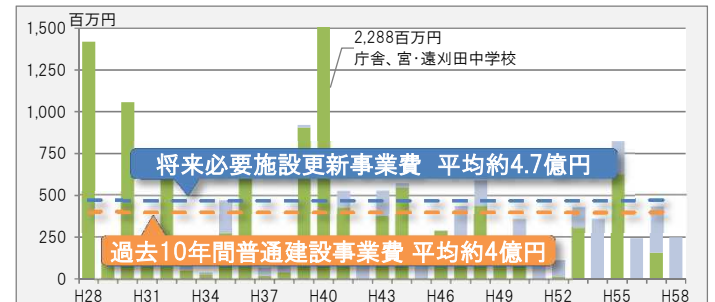
年度別建築床面積の状況

本町が保有する公共施設の総数は114施設、延床面積は64,777㎡となっています。昭和40年代から50年代にかけて、小中学校、庁舎、地区公民館などの公共施設が集中的に整備され、築30年以上が経過しています。



将来の更新等費用の推計

今後30年間に見込まれる公共施設・インフラ施設の更新等費用を推計したところ、合計で146億円、年平均で約4.7億円が必要となります。現在の普通建設事業費に比べ年平均で約1.2倍必要となり、約22億円不足すると見込まれます。



現状や課題に関する基本認識

人口減少と少子・高齢化への対応

人口減少と少子・高齢化は、人口と人口構成比の大きな転換を伴うため、利用状況や必要とされる機能などの変化に対応した適切な公共施設等の規模や配置を検討していく必要があります。

厳しい財政状況への対応

厳しい財政状況の中で、歳入規模に見合った財政規模への転換を図るため、公共施設等の維持管理費用と更新等費用の縮減、財政負担の平準化を図っていくことが重要となります。

公共施設等の状況への対応

現在の状況に対応するために、総量の縮減や維持管理にかかる費用を縮減する保全方法への転換が重要です。また、より効率的な管理運営のために施設情報の一元管理が必要です。

全庁的な取組体制の構築

全庁的な取組体制

公共施設マネジメントの取組みを分野横断的に推進するため「公共施設等活用検討会議」を組織し、計画の見直しや新規整備の検証や施設再編の検討等の調整を行います。

施設情報の一元管理と共有化

固定資産台帳及び施設カルテにより、施設情報の一元管理を行い、情報共有に努め、その施設情報を本計画の見直しや行動計画の策定に活用します。

職員のマネジメント意識啓発

職員一人ひとりが公共施設マネジメントの意義を理解した上で、共通認識を持って意識的に取り組んでいく必要があることから、意識啓発に努めていきます。

公共施設等の管理に関する基本的な考え方

「量」の最適化

今後、少子化の進展等による人口減少に伴い、一定の役割を終えた施設の廃止、施設機能の集約や複合化を検討することなど、町の人口や財政の規模に合わせた「量」の最適化を推進します。

- 施設総量の縮減
- 施設の売却

「省」の最適化

今後、財政状況は、一層厳しくなるものと見込まれていることから、現在の公共施設等の管理運営面において、改善の視点から無駄な費用が発生していないか、安全かつ安心な施設環境が確保されているかなど、再点検や見直しを図る「省」の最適化を推進します。

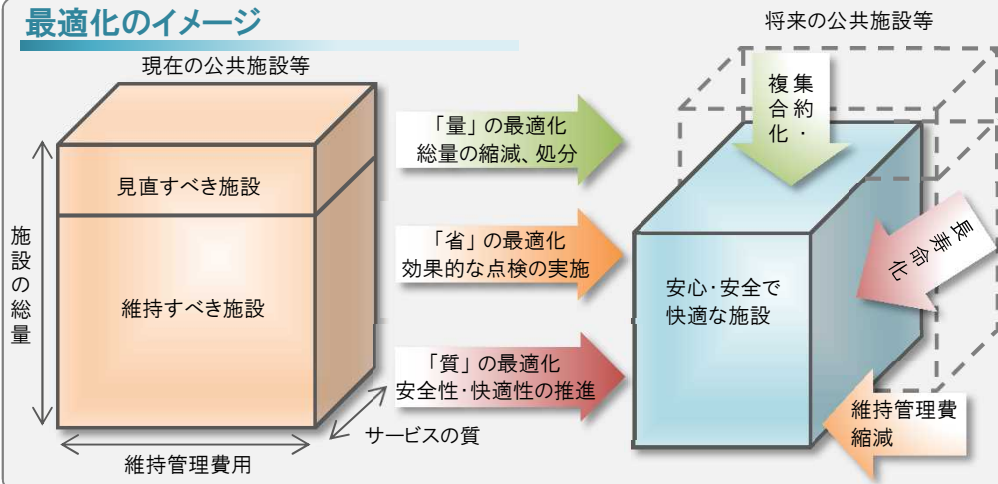
- 施設情報の一元管理と共有化
- 効果的な点検・診断等の実施
- 維持管理業務の適正化
- 適切な公共サービスの提供
- 受益者負担の適正化

「質」の最適化

今後、施設の大規模改修や更新時期の集中を回避するため、施設を長期的に健全な状態を維持する必要があります。また、公共施設等を適切に機能させるためには、災害対策の強化や環境への配慮、誰もが使いやすい施設機能の充実等、新たな時代の要請に対応した「質」の最適化を推進します。

- 安全性の確保
- 長寿命化の推進
- 耐震化の推進
- 行政と民間の連携
- 時代に即した施設機能の充実

最適化のイメージ



施設類型ごとの管理に関する基本的な方針

公共施設

庁舎

本庁舎は、防災拠点となることなどを踏まえ、耐震性や安全確保の観点を重視しつつ、施設機能の向上を検討していきます。

学校・教育施設

より良い教育環境の整備を目指し、学校再編計画等との整合を図りながら、地域の実情に応じた適正な施設配置を進めます。

社会教育・文化施設

施設の長寿命化を図りながら、効率的な維持管理の方法を検討し、利用者数の増加と管理運営コストの縮減に努めます。

体育施設

施設の長寿命化を図りながら、効率的な維持管理の方法を検討し、利用者数の増加と管理運営コストの縮減に努めます。

福祉施設

児童館は、学校再編計画等との整合も図りながら、運営方法等を検討します。保育所更新時には、認定こども園の設置を検討します。

公園

「蔵王町公園施設長寿命化計画」に基づき、定期的な点検と計画的保全により、施設の長寿命化を図ります。

消防施設

計画的な修繕に努めるとともに、大規模な改修や更新等は、地域の実情に合わせて検討します。

公営住宅

「蔵王町公営住宅等長寿命化計画」を策定し、定期的な点検と計画的保全により、施設の長寿命化を図ります。

商業・産業施設

施設の長寿命化を図りながら、効率的な維持管理の方法を検討し、利便性の向上と管理運営コストの縮減に努めます。

防災関係施設

地域の防災拠点として、地域の実情に合わせて適切な維持管理を行います。

インフラ施設

道路、農道、林道

定期的な点検とその結果に基づいた維持管理を行うとともに、計画的な予防保全を検討し、管理コストの縮減を図ります。

橋梁

「蔵王町橋梁長寿命化計画」に基づき、定期的な点検と計画的保全により長寿命化を図ります。

公営企業施設

上水道

「アセットマネジメント」や「経営戦略」を作成し、施設の計画的な更新により、財政負担の平準化を図ります。

下水道

平成31年度までに法適化を目指しながら、更新計画等についても検討していきます。

病院

施設の長寿命化を図りつつ、時代の要請に対応した施設機能の向上を検討します。